十勝管内、交通死亡事故ゼロ122日
最長記録更新中

2015/02/19 9:52

十勝管内で交通死亡事故がない日が続いている。昨年１０月を最後に、約４カ月間、死亡事故は発生していない。十勝総合振興局によると、現時点で確認が取れる１９８９年以降では最長という。道警をはじめ関係者の各種取り組みが一定の効果を上げたことが要因の一つとみられるが、さらなる記録更新に向け関係者は気を引き締めている。

●冬道の**慣れ**などから警戒心が低下し、**「こんなにすべるとは思わなかった」**など、**交差点付近**で**追突**事故が急増
●交差点付近は、**雪山で見通しも悪く**なり、**出合い頭**の衝突や**歩行者との事故**が多く発生

バック時は　**降りて**確認　**乗って**も確認

追突、玉突き事故事故を防ぐ　**交差点手前**で止まる時は**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点　「右左確認／よ～し！」
◆**左折**時は、**死角**を認識し、安全確認
◆**右折**時は、**対向車**だけでなく、**横断歩行者**にも注意

「足が滑って、アクセルを踏んでしまった」
レンタル店に車突っ込む　女性1人けが

2015年2月19日(木)23時26分

19日午後2時45分ごろ、埼玉県のレンタルビデオ店で、出入り口に乗用車が突っ込み、店内にいた客の無職女性（69）をはねた。女性は顔や足に軽傷を負ったほか、同店のドアガラスや柱が損壊した。警察は、自動車運転処罰法違反（過失傷害）容疑で、車を運転していた無職の女性容疑者（75）を現行犯逮捕した。容疑者は同店出入り口脇の駐車場で車を止めようとした際、車止めを乗り越え、出入り口に突っ込んだ。容疑者は「買い物に来たが、**ブレーキを踏もうとしたら、足が滑ってアクセルを踏んでしまった**」と話しているという。

ぬかるんだ道路　トラックが転落　運転手死亡

[2015/2/20 17:22]

１９日午後、島根県で、走行中のトラックが道路から法面に転落し、運転していた男性が死亡した。１９日午後３時半頃、運転していたトラックごと、町道工事現場の**仮設道路**から５０メートル下の法面に転落しているのが発見された。男性はガソリンスタンドに勤務していて、重機への給油のため工事現場に向かっていた。仮設道路は舗装されておらず、当時**ぬかるんだ状態**だったということで、警察が詳しい事故原因を調べている。

トラック運転手　「居眠りしていた」
工事現場にトラック突っ込み作業員ら6人死傷

2015年2月20日(金)10時36分

２０日**午前１時**半ごろ、岡山県の国道で、補修工事をしていた中央分離帯に**大型トラックが突っ込んだ**。工事の作業員のうち男性（６１）が死亡したほか、４人とトラック運転手の男性（６１）の計５人が軽傷を負った。警察によると、現場は片側３車線の直線道路。当時、中央分離帯の両側１車線を通行規制して工事をしており、現場付近は片側２車線になっていた。調べに対しトラック運転手の男性容疑者は、**「居眠りをしていた」**と供述しているという。

停車中の車にトラック衝突　夫婦死傷

(2015/02/20 12:02)

２０日午前１時すぎ、滋賀県の国道で止まっていた軽乗用車に**トラックが追突**し、軽乗用車が横転し夫婦が死傷する事故がありました。当時車の脇には、運転していた無職の男性（７９）が立っていて、はね飛ばされて頭を強く打ち、死亡しました。また、助手席に乗っていた妻（７６）も右足の骨を折るなどの重傷です。警察は、トラックを運転していた女性（３７）から話を聞くなどして、事故のいきさつを調べています。